

令和５年度 第３回刈谷市ごみ減量化推進会議議事録

日 時	令和５年１２月２１日（木）午前１０時００分～午前１１時３０分
場 所	刈谷市役所５階 ５０３会議室
出 席 者	ごみ減量化推進会議委員 １５名出席／１８名（別添委員名簿の通り） 産業環境部 伊藤部長 ごみ減量推進課 熊澤課長、平出課長補佐、奥村係長、横田、三浦
議 題 等	（１）パブリックコメントの結果報告について （２）刈谷市一般廃棄物処理基本計画 概要版について その他：ジモティーの実績報告について

会議の説明等【事務局 熊澤課長】

・・・配布資料の確認。

本日は委員１８名中１５名が出席。過半数の出席であるため会議として成立。
以後、榊原会長を議長とし、次第に沿って進行。

１ あいさつ

（１）会長あいさつ

【会長 榊原委員】

：この会議は、来年度から施行する計画のため議論を深めてきた。今後の社会情勢は予測困難を極めるものだが、それに対応し課題解決するためには、情報収集に努めることが欠かせず、その情報に基づき柔軟に対応することが求められている。是非とも、委員の皆様からは忌憚ない意見を募りたいと考えている。より一層よいものにするため、活発な意見交換をお願いしたい。

２ 議題【事務局 平出】

（１）パブリックコメントの結果報告について

・・・資料「刈谷市一般廃棄物処理基本計画（案）パブリックコメントの結果について」に沿い、内容の説明を行う。

<意見等>

【会長 榊原委員】

：この会議の後にこの回答が公表されるということか。

【事務局 平出】

：今年度３月に公表予定である。

【消費者生活学校 作田委員】

：５番の回答に「収集する古紙類が雨に濡れないよう」とあるが、紙容器や古紙類は雨に濡れては良くないものなのか。また、紙容器の指定袋の売り場が少ないように感じるが、そもそも指定回収袋と同じ形式にすることはできないか。

【事務局 三浦】

：紙容器や古紙類が濡れてしまうことについて、再資源化の処理自体に影響を及ぼすものではないが、収集作業や再資源化を行う準備の工程において都合が悪く、コストが増加してしまうため、水に濡れないようにと案内している。
指定回収袋と同じ形式にした場合、中身だけの回収という運用になるため、散乱や汚損のリスク、それを防ぐための人的コストが増加する恐れがあるため、現在の運用としている。

【会長 榊原委員】

：リサイクルを行う品目や工程などは、その処理の工程の都合により、自治体によって異なる。さまざまな事情や、それに対応するための工夫、ルール運用や効率化の方法が市民にとってより分かりやすくなればよいと思う。
意見に対する回答に関して、もう少し具体的に理由を示した方が理解がされやすいのでは、と感じる。

【あいち中央農業協同組合 鈴木委員】

：3番について、市の目標とは別に県の目標が存在するが、これには何か拘束力があるものなのか。

【事務局 平出】

：拘束力があるものではないが、刈谷市は県平均よりもごみの排出量が多いことを考慮し、県の数値目標を参考にして市の目標を設定した。市としてはあくまで、市の目標達成を目指し施策を執り行うものである。

【刈谷市自治連合会 山村委員】

：市の一人一日当たりのごみの排出量の目標が定められているが、自治会や町内で共有する際に、各世帯各個人として、いったいどれぐらい出してよいのか、どれぐらい減量していけばよいのか、ということをより分かりやすく広報できるとよいと思う。

【事務局 平出】

：今後の広報の際の参考にさせていただく。

【愛知県西三河県民事務所 天野委員】

：刈谷市の目標値の内訳は、県と同じものか。

【事務局 三浦】

：同じである。

【会長 榊原委員】

：明確に数値化することも必要だが、より市民にとって分かりやすく、身近に感じやすいよう表現する必要もあると感じる。

(2) 刈谷市一般廃棄物処理基本計画 概要版について

・・・資料「刈谷市一般廃棄物処理基本計画 概要版」に沿い、内容の説明を行う。

【あいち中央農業協同組合 鈴木委員】

：p.2 資源化の状況、最終処分量の推移について、2020年から大幅に数値が変動しているが、その理由は。

【事務局 平出】

：刈谷知立環境組合のクリーンセンターにて、焼却灰の資源化利用を取りやめたことが大きな要因である。今後は民間会社を活用し、資源化利用を図っていく予定である。

【会長 榊原委員】

：明確に数値化することも必要だが、より市民にとって分かりやすく、身近に感じやすいよう表現する必要もあると感じる。

【東洋衛生 池邊委員】

：p.4 に資源化目標が示されているが、これを見た市民が、具体的にどういった取り組みをしていけばよいか、分かりやすく示すことが必要ではと考える。

【会長 榊原委員】

：市民に向けた広報を行っていく際に、参考にしてほしい。

【刈谷市副市長 近藤委員】

：全体を通して、見る側にとって分かりやすく、身近に感じる工夫を加えてほしい。

【刈谷市自治連合会 山村委員】

：p.5 に食品ロス量の推計が示されているが、ごみの排出量に占める割合は大きいと感じる。食品廃棄などは特に家庭に身近な問題であるため、自治会、町内会等ともに協力して減量に貢献していきたいと考えているので、ぜひ市に音頭をとってほしい。

【DCM 桑山委員】

：計画の概要版自体はよいものだと思うが、個人や家庭、または事業所の取り組み事例、アイデアなどをまとめた冊子などを用意し、広報資料として用いていくこともよいのではないか。

【消費者生活学校 作田委員】

：子どもに向けた学習資料として利用できるものになるとよいと思う。

【あいち中央農業協同組合 鈴木委員】

：目標年度に向けた各年度の進捗管理などは行うのか。

【事務局 三浦】

：本計画とは別に、前年度の実績をまとめ、当該年度の事業目標を立てる実施計画というものを毎年度作成している。その内容については当会議でも年度当初に共有し、本計画に鑑みた評価も含めて、委員の皆様と行なっていきたいと考えている。

【刈谷市いきいきクラブ連合会 塚本委員】

：市民ひとりひとりが身近に問題意識を持てるようなイベントやキャンペーンを打ち出し、ごみの減量や資源化に取り組めるようになるとよいと感じる。

【会長 榊原委員】

：具体的に計画に盛り込むことは難しいかもしれないが、今後の事業展開の参考にしたい。

その他：ジモティーの実績報告について

・・・資料「ジモティーの実績報告について」に沿い、内容の説明を行う。

【消費者生活学校 作田委員】

：刈谷知立環境組合のクリーンセンターやリサイクルプラザ「エコくる」では展示販売も行なっている。スマホを利用できない高齢者などは利用しやすいと考えているので、これからも事業を広めていきたい。

その他：今後について

【事務局 平出】

：一般廃棄物処理基本計画については、パブリックコメントの回答とともに令和6

年３月議会の委員会で報告を行ない、市ホームページ・市民だよりにて公表する。本日いただいた意見を参考にして見直し・検討を行なうので、最終的な確認にご協力をお願いしたい。